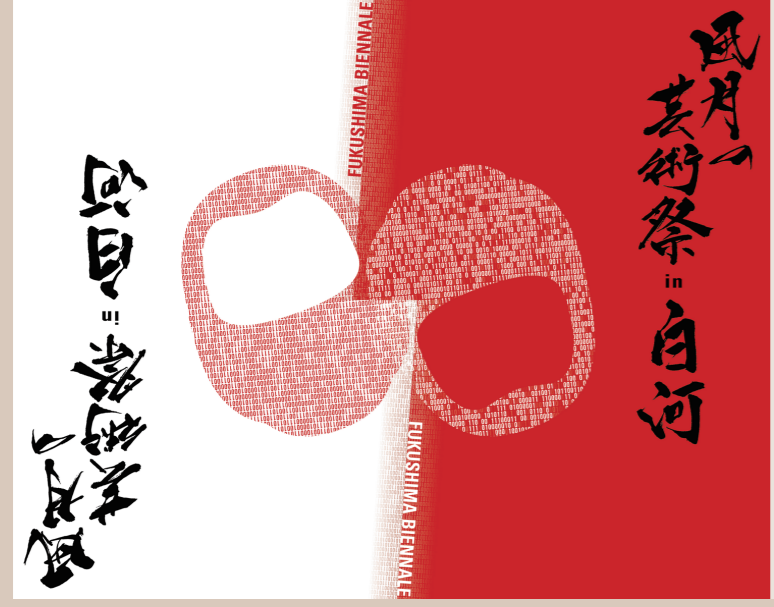


福島ビエンナーレ2024 風月の芸術祭 in 白河 は来年夏頃開催予定です



「風月の芸術祭 in 白河」とは？

白河市では2020年から隔年で「福島ビエンナーレ 風月の芸術祭」を開催しています。白河藩主・松平定信公の雅号《風月》に由来する文化を愛でる精神を受け継ぎ、地域の自然や歴史を基盤とした現代アートの企画です。2024年も国際的なアーティストによるアートの創作と鑑賞、ワークショップやパフォーマンスなどの公演や講演会を展開していきます。

公式ホームページ 前回の芸術祭の情報が見れます! shirakawa-art.com

STAFF インスタグラム 市民目線の白河市の様子がのぞけるよ! [@art_shirakawa](https://www.instagram.com/art_shirakawa)

同時開催 アーティストだるま展示

芸術祭にて伝統工芸品である「白河だるま」をモチーフに、招待アーティストが制作した作品を店舗や歴史的建造物に展示することで「まち歩き」を楽しんでもらおうと企画したものです。



芸術祭でのアートだるま受賞作品

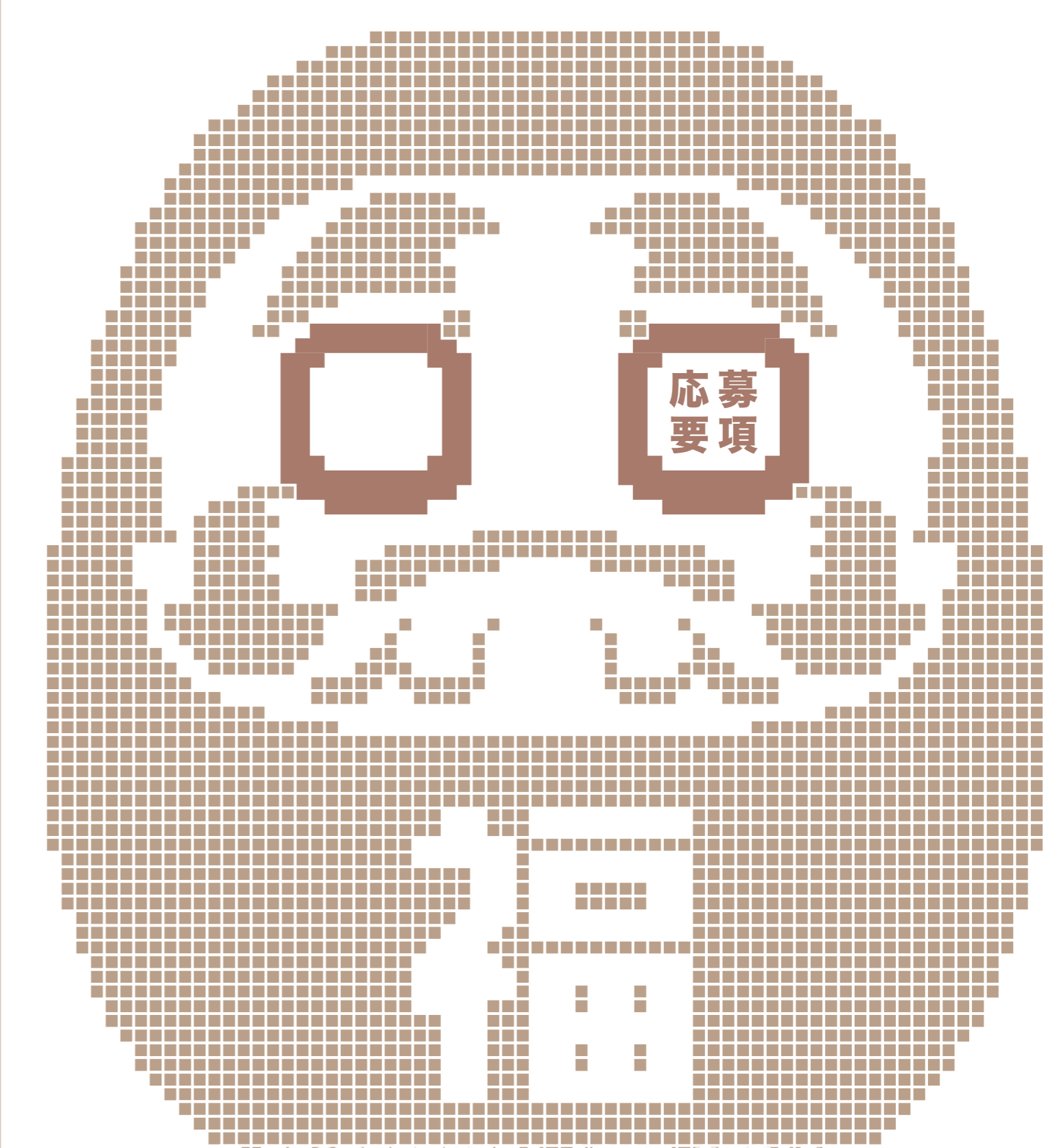
2020年・2022年での風月の芸術祭で、一般アートだるま公募に応募いただき受賞された作品たちです。(両年受賞された方もいます) 白河だるまの「ぬ」のサイズの作品を掲載しております。



審査員アーティスト紹介

| | | |
|---|--|---|
| <p>現代美術作家・京都芸術大学 教授 ヤノベケンジ YANOBE, Kenji</p> <p>1991年京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。「現代社会におけるサヴァイヴァル」をテーマに実機能のある大型機械彫刻を制作。ユーモラスな形態に社会的メッセージを込めた作品群は国内外で評価が高い。2011年、東日本大震災後、希望のモニュメント《サンチャイルド》を制作し、国内外で巡回。《SHIP'S CAT》シリーズ、守護獣《KOMANU ― Guardian Beasts ―》を奉納展示など美術の起源や存在意義を問い、環境と相互作用をもたらす作品を制作。</p> | <p>美術家・福島大学 教授 渡邊 晃一 WATANABE, Koichi</p> <p>福島大学芸術による地域創造研究所所長。ベンシルバニア州立大学客員研究員。ロンドン芸術大学客員研究員。パリ国立美術学校客員教授。主な作品発表・川口現代美術館、田中一村記念美術館、Zero Gallery・アメリカ、Century Gallery・イギリスなど。著書に「絵画の教科書」日本文教出版。「モノ・リザの教科書」日本文教出版ほか。論文「生命形態と美術教育 ―三木成夫の解剖学からの接近―」にて第30回佐賀賞(研究論文部門最優秀賞)。</p> | <p>ヒーロー ダルライザー Dharuriser</p> <p>桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇専攻修了。地元白河だるまをモデルにしたヒーロー。「人はヒーローになれるのか」をテーマに演技未経験者の市民を巻き込み演劇やヒーローショー、映画制作を行っている。2017年に制作した自身の半生をモデルにした映画『ライズ ダルライザー』(監督:佐藤克則)は地元好評の後押しを受け2019年に全国10館で上映、タイの映画祭で特別賞を受賞している。</p> |
|---|--|---|

福島県 白河市
白河アートだるま公募



主催 風月の芸術祭実行委員会 / 事務局 白河市文化振興課

応募要項 白河アートだるま公募

応募概要

今回公募するアートだるまは、白河市で毎年2月に開催される歴史的な伝統行事「だるま市」と、来年夏頃に白河市で開催される“福島ビエンナーレ2024 風月の芸術祭 in 白河”にて展示します。「白河だるま」のアート作品を制作し芸術祭に参加してみませんか。想いを込めた作品、お待ちしております^^

白河だるまとは？

江戸時代に白河藩主松平定信が絵師の谷文晁に考案させたのが始まりとされています。願かけや商売繁盛・家内安全のための縁起物として、毎年一つずつ大きなサイズを買う習わしもあります。

だるま市とは？

例年2月11日、旧奥州街道沿い(本町～天神町)で開かれる県南地方最大の「市神祭」で、この日の市内中心商店街は市全体の人口の2倍以上にあたる15万人もの人々で朝から夕暮れまで賑わいます。だるま市は約300年の歴史がある市神祭が始まりとされています。「市神祭」では、正月飾りやかんながらで作った花飾りが売られていましたが、のちに売り物の中心がだるまとなり「だるま市」と称されるようになりました。

展示について

**展示期間：2024年2月1日(木)～2月25日(日) ※2/11 だるま市開催予定
福島ビエンナーレ2024 風月の芸術祭 in 白河 に展示(2024年夏頃予定)**

展示場所：マイタウン白河・しらかわ観光ステーション

賞 / 賞品

- ・金賞 1名
- ・審査員特別賞 4名程度
- ・銀賞 2名程度
- ・白河市の各団体・商店賞(予定)
- ・銅賞 3名程度

【特典】 応募者全ての方へ風月の芸術祭グッズをプレゼントいたします。特典は作品返却時に同梱させていただきます。

審査員

- ・ヤノベケンジ (現代美術作家・京都芸術大学教授)
- ・渡邊 晃一 (福島ビエンナーレ風月の芸術祭 芸術監督・福島大学教授)
- ・ダルライザー (白河市公認ヒーロー)
- ・風月の芸術祭実行委員会 委員長

発表

2024年1月下旬にホームページ・SNSにて、展示期間中は会場にて掲示します。

選考方法

2023年12月1日(金)までに届いた作品を審査対象とさせていただきます。
⚠ 12月2日(土)以降に届いた作品につきましては展示のみとさせていただきます。

参加費

1体 1000円

※ネット購入の方は決済画面で送料がプラスされます。
※だるまの搬入・搬出時の送料は参加者負担となります。

入手方法

店舗

- ・しらかわ観光ステーション
場所：白河市郭内1-2 / 営業時間：9時～18時
- ・マイタウン白河
場所：白河市本町2 / 営業時間：9時～21時

ネット

白河市ホームページから、
もしくは下記のアドレス入力、
または右のQRコードから！▶
<https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page008393.html>



応募の流れ



応募規定

- ・安定して立つこと。(振動で転がらないこと！)
- ・未発表の新作をお願い致します。(厳守)
- ・プロ・アマは問いません。
- ・個人、グループ、法人、学校など、特に問いません。
- ・搬入・搬出時の送料につきましては参加者の負担となります。(返却時は着払いで発送します。)
- ・作品サイズ：高さ30センチ、奥行き20センチの棚に納められる大きさをお願いします。

【その他注意点】

- ・展示が困難と思われる作品、壊れやすい作品、簡単に持ち運びできない作品、管理が必要な作品、危険な作品等は展示しない可能性があります。
- ・展示や分解の方法が複雑な作品は展示いたしません。(第三者による展示作業が5分以内に完了できない作品)
- ・全く連絡が取れない参加者の作品、搬出に來なかった作品・返送されてきた作品につきましては、どんと焼きに出しますのでご了承ください。
- ・今回応募いただいた作品は2024年の芸術祭にも展示します。返却は2024年10月以降となりますのでご了承ください。

★上記によって展示されない場合においても参加費の返却は致しません。

作品の搬入出・展示等について

- ・購入時の箱にエンタリーシートが入っております。ご記入の上、購入時の段ボールに同梱し白河市役所文化振興課(3階)に参加者ご本人での持ち込みを原則とします。
- ・遠方の場合下記「送り先」に記載の住所に宅配便等での搬入をお願いします。(送料は参加者負担。十分な梱包をして下さい)
- ・持ち込み・郵送に関しては10月1日～12月1日までの間に到着するようにお願いします。遅れて到着したアートだるまについては、審査対象にはなりませんのでご注意ください。(展示のみとなります)
- ・返却方法を「郵送」に選択された方は、着払い宅配便(参加者負担)にてお返しいたします。
- ・作品は細心の注意をもって取り扱いますが、展示中に万が一事故が生じた場合は保険の範囲のみの補償となりますのであらかじめご了承ください。

アートだるまの送り先・持ち込み搬入先・お問い合わせ

〒961-8602 福島県白河市八幡小路7番地1 白河市役所 文化振興課 宛て(☎0248-22-1111)
だるまと同封のエンタリーシートに必要事項を記入の上、ご参加ください。作品の送料は参加者様ご負担となりますのでご了承ください。